



一般社団法人日本物流団体連合会  
Japan Association for Logistics and Transport

3-3-3 Kasumigaseki, Chiyoda-ku,  
Tokyo, 100-0013 Japan  
TEL: +81-3-3593-0139  
FAX: +81-3-3593-0138  
URL: www.butsuryu.or.jp

## News Release

令和 6 年 7 月 23 日

### 令和 6 年度第 1 回「海外物流戦略ワーキングチーム会合」を開催 - インドのビジネス環境と機会に関する講演会を実施しました -

(一社)日本物流団体連合会は、7月18日(木)、令和6年度第1回「海外物流戦略ワーキングチーム会合」を千代田区の全日通霞が関ビルで開催しました。この会合は、物流事業の海外展開に関する課題を官民連携で検討するもので、会員企業や国土交通省から46名が参加しました(内15名がWeb参加)。

このワーキングチームは、昨年度は「ベトナム」の物流事情について調査を行いました。令和6年度は、物流業界のグローバルサプライチェーンにおいて大変注目されており、昨今経済成長が著しい「インド」の物流事情について調査を行います。

第一部の講演会では、日本貿易振興機構(ジェトロ)調査部の河野様と深津様を講師としてお招きし、「インドのビジネス環境と機会」と題しご講演いただきました。講演会にはワーキングチームメンバー以外にも多数聴講いただき、Web参加を含めて合計147名が参加しました。

講演は、はじめにインドの地域別特性や同国の多様性、人口構成の特徴などを具体的に説明されました。続いて、インドの経済概況について触れ、市場動向をGDPデータ等を用いて詳しく解説されました。インドで成長する新たな産業に関連し、日系企業の投資動向について触れられました。世界からインドへの直接投資額は23年に減少するも、日本からのそれはコロナ禍で減少したものの、再度増加傾向にあると解説。同国に進出する日系企業の利益状況や事業拡大意欲等について、大変興味深い説明がされました。

最後に、インドはITだけではなく、海外事業やマネジメント等の人材の宝庫であるので、日系企業もインドへの関心に多様化が必要であると締めくくり、講演は終了しました。

第二部のワーキングチーム会合では、国土交通省物流・自動車局国際物流室 課長補佐の古田氏から「最近の国土交通省の国際物流政策の取り組みについて」説明がありました。具体的には、国際物流室の業務概要についての説明と物流事業者の海外展開促進に関する取り組み状況を報告いただきました。

続いて、事務局から今年度の当ワーキングチームの活動計画について説明をし、今年度のインド物流実態調査を2年に亘って調査を行う方針を提案しました。それに対し異論がなかったことにより、令和7年度末に調査報告を完了させることを確認しました。

最後に事務連絡を行い、今年度最後の会合は終了しました。

今後も物流連は、会員企業の海外展開に資する取り組みを実施してまいります。

【講演されたジェトロ河野氏（左）、深津氏（右）】



【最近の取組を発表される国土交通省 古田真敏氏】



【会合が開催された全日通霞が関ビル】



以上  
事務局 嶋